

令和 5 年 9 月 21 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

議会運営委員会委員長 岡本 眞利子

議員派遣結果報告書

令和 5 年 6 月 27 日に決定されました議員派遣について、次のとおり報告します。

記

- 1 派遣名 北海道町村議会議員研修会及び先進地視察調査
- 2 目的 議会活動に必要な知識の習得及び情報収集を行い、議会機能向上に資するため。
- 3 派遣場所 札幌コンベンションセンター（札幌市白石区）北海道町村議会議員研修会〔北海道町村議会議長会主催〕
エア・ウォーター株式会社 月寒事業所（札幌市）
恵庭市議会
- 4 派遣期間 令和 5 年 7 月 4 日～5 日（2 日間）
- 5 派遣議員 委員長 岡本 眞利子 副委員長 内山 美穂子
委員 小田 新紀、荒 貴賀、野原 恵子、
谷口 和弥、田口 廣之、
議員 畠山 美和、塚本 逸彦、山端 隆治、
長谷 陽子、石川 康弘、藤谷 謹至、
議長 寺林 俊幸 副議長 中橋 友子
(以上 13 人)
(酒井 はやみ議員、小島 智恵議員、
芳滝 仁議員、藤原 孟議員 4 人欠席)

6 派遣内容

(1) 【北海道町村議会議員研修会 7/4(火)】

- | | |
|-----|---|
| 内 容 | 講演 |
| 演 題 | 『ウクライナ危機後の世界と日本』 |
| 講 師 | ひょうご震災記念 21 世紀研究機構
理事長 五百旗頭 真 氏 |
| 所 感 | 五百旗頭氏は政治学者、歴史学者であり、ロシア、ウクライナの現状における歴史的見解、他の大国や日本の近隣国においても緊迫した状態はせまっております、また、技術力を図るための情報収集が日本でも行われているとのことであっ |

たが、何ができるかは見出せませんでした。

演 題 『日本政治の舞台裏』
講 師 政治ジャーナリスト 田崎 史郎 氏
所 感 田崎氏の見解における各政党、議員（政治家）を伝えていただくとともに岸田首相が総理大臣に至る経過、また、政治姿勢について聞くことができました。

(2) 【エア・ウォーター株式会社 7/5 (水)】

視察概要 移動式水素ステーションと垂直設置型太陽光モジュール
内 容 エア・ウォーター(株)北海道地域連携室近田課長から水素の製造や移動式水素ステーションの仕組み等についての説明を受け、実際に燃料電池自動車への水素充填を見学しました。

所 感 また、多田主任から垂直設置型太陽光モジュールの性能及びメリットについて話しを伺いました。

燃料電池自動車 (FCV) は寒冷地北海道でも十分に対応できると感じられました。

2030年に北海道で9,000台の目標であるが、現状二桁であり、今後普及させるためには供給できる水素ステーションが必要であり、また、水素ガスを扱える資格者が必要とすることであるため、バランスよく燃料が置き変わればと考えます。

垂直設置型太陽光モジュールについては、これまで太陽光発電設備が設置できなかった区域への設置など可能性が広がったと感じられました。

(3) 【恵庭市議会 7/5 (水)】

視察概要 ICT化の取組

内 容 タブレット端末導入によるICT化によりペーパーレス議会、委員会も達成した先進地を視察しました。

所 感 質疑の中で、我が町で必要としている機能や規模について参考となりました。

(1) 北海道町村議会議員研修会 (7/4)



▲ コンベンションセンター大ホール



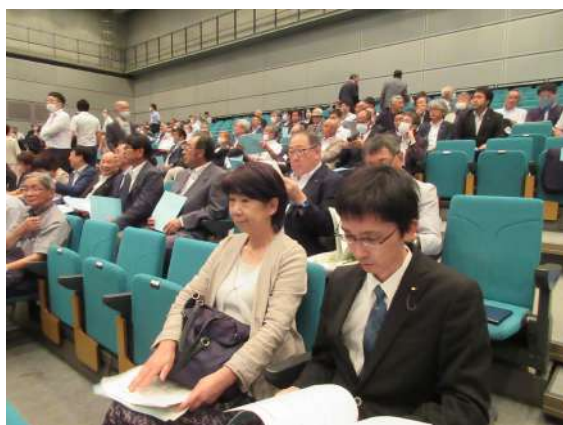
▲ コンベンションセンター大ホール



▲ 幕別町議会研修会出席者



▲ 幕別町議会研修会出席者



▲ 幕別町議会研修会出席者



▲講師：五百旗頭 真 氏



▲講師：田崎 史郎 氏

(2) エア・ウォーター株式会社 (7/5)



▲エア・ウォーター(株)近田課長説明



▲エア・ウォーター(株)近田課長説明



▲FCV車 水素充填



▲垂直設置型太陽光モジュール

(3) 恵庭市議会 ICT化の取組 (7/5)



▲ 恵庭市議会 川原副議長 挨拶
(右) 柏野議員 [ICT 専門部会]



▲ 幕別町議会出席者



▲ 説明員：恵庭市議会事務局 吉川次長 (左)



▲ 恵庭市議場見学